

# 環境戦略部 3 課の主な取り組み

## カーボンニュートラル *Carbon Neutral*

☎カーボンニュートラル課 ☎0287(73)5651

### 脱炭素先行地域の構築

- ・青木地区で、再生可能エネルギーの地産地消などによる脱炭素化の実現と、災害などによる系統停電時に電力供給を可能とする「ゼロカーボン街区」を構築
- ・住宅、事業所、酪農家などへ太陽光発電設備および蓄電池を導入し、CO2排出量削減と災害への対応力を高める

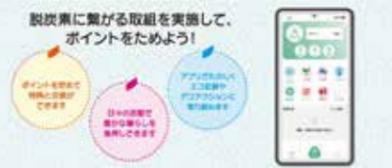


### デコ活の推進

「デコ活」とは…脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る活動

#### エコポイントアプリ「エンジョイecoなすしおぼら」

エコバックやマイボトルの使用など、脱炭素につながる取り組みを実施するとアプリでポイントがもらえる！  
ためたポイントは特典と交換！



## サーキュラーエコノミー *Circular Economy*

☎サーキュラーエコノミー課 ☎0287(62)7030

### 官民連携によるリニューアブルの推進

#### 製品原材料を再生材で

市内小中学校の協力で、回収したペットボトルキャップを活用し、学校や市の公共施設で使う「再生材を使用したごみ袋」を民間事業者と連携し製造。製品の原材料に再生材(ペットボトルキャップ)を使用することで『資源循環の見える化』を図り、楽しくリサイクルに取り組むことができる。



## ネイチャーポジティブ *Nature Positive*

☎ネイチャーポジティブ課 ☎0287(62)7141

### <那須塩原市生物多様性地域戦略に掲げる重点プロジェクトの推進>

#### 50by30 目標の達成

「2030年までに市の面積の50%以上を保全地域とする」という本市独自の目標

- ・保護地域の拡張に向けた取り組み
- ・市版自然共生サイトの拡充
- ・生物多様性保全の取り組みに係る企業などとの連携や支援

#### 植生回復・生態系の保全

- ・保全ゾーンへのシカ侵入防護柵の設置や鳥獣被害防止策による湿原・湿地の植生回復および保全
- ・越堀・寺子地区における農業生態系の保全



那須拓陽高校との協働による生物調査の様子▶

#### 特定外来生物の防除

特定外来カミキリムシによる被害の拡大防止措置、外来植物の駆除など



特定外来カミキリムシによる被害を受けた樹木▶



▲ 豊かな生態系を育む農業用ため池(寺子地区)



▲ 夏の訪れを感じさせるオカトラノオ

それだけではなく、「環境制約の中で生きていることが、むしろ豊かな社会作りにつながる」ということです。経済成長と環境破壊をディカップル(切り離し)できるような社会構造にすることが重要ではないかと、特にポストコロナの社会で非常に強調されるようになりました。

今回の国の環境基本計画の改定の中に、私はあえてプラネタリーヘルスを入れるよう提言いたしました。国の政策にプラネタリーヘルスが採用されたことは非常に画期的だと思いますね。

渡辺 やはり、これから本市で地域の魅力、付加価値を高めていくために、環境政策をより進めていきたいですね。

そのためには、自然共生の取り組みを市役所だけでなく、市民や企業に参画していただくことが重要だと感じています。

那須塩原市という中都市が、地域において三本柱を打ち出すことの意味について、武内先生はどのようにお考えでしょうか。

組みが、非常に重要だと思います。つまり、同質な集団から多様な集団をどうやって形成するか。那須塩原のようなちよūdōよいサイズの地域は多様な集団を作りやすく、それぞれの役割を担いながら、地域全体の底上げをしていける。

結果として、自然を大事にするところが、経済成長にもつながる社会づくりをしていく、そういう話が非常にしやすい地域ではないかと思えますね。

渡辺 私が環境政策を取り入れたときは、我慢を強いるものといったイメージが強かったので、市民の皆さんの生活がより豊かになるということ発信していきたいです。

最近、さまざまな分野の企業からネイチャーポジティブなどの分野で連携したいという話をいただきありがとうございます。そういう話から、企業誘致にもつながるかもしれない。

環境政策に取り組むことによつて、より豊かになっていくことを目指します。



▼ 美しい那珂川の支流(木の俣園地)

▼ 希少な植物が失われつつある沼っ原湿原

